



學 穂

令和6年度 広州日本人学校

学校だより No.9

令和6年12月11日

発行責任者 校長 大久 耕

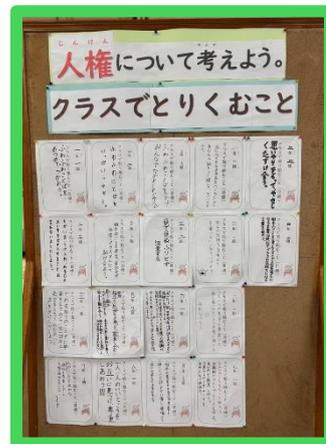
～ 広州日本人学校は2025年学校開校30周年を迎えます ～

人 権 週 間

12月10日の「世界人権デー」に合わせて、12月2日（月）から6日（金）まで、人権週間を実施しました。

「人権」というと難しく聞こえますが、「友達や仲間を大切すること」という視点で、一人一人がどんなことに気を付けて行動すれば良いのかを、学級で考えました。

学級の行動目標には、「声を掛け合おう」、「言葉遣いに気を付けよう」、「相手のことをもっと知ろう」など、自分たちが出来ることに取り組んでいこうとする様子が見られています。



校外学習・交流活動 続々と

【オンライン交流① 宮城県岩沼南小学校】小学部3年生（11月14日）

小学部3年生の総合的な学習の時間は、「世界の人々とつながろう」をテーマに学習を進めています。今回のオンライン交流では、「私たちが住む広州のよさを日本の小学生に伝えよう」ということで、「広州日本人学校のすばらしさ」「広州の自然のすばらしさ」「広州の生活の便利さ」「広州タワーのすばらしさ」「飲茶のすばらしさ」などのテーマに分かれ、発表を行いました。



岩沼南小からは、日本の小学生の生活や自分たちの地域の良さなどについて発表があり、お互いの国や住む地域についての理解を深めました。

【保育実習 オイスカ広州日本語幼稚園様】中学部3年生(11月26日)



中学部3年生が、家庭科の学習の一環として、隣接する「オイスカ広州日本語幼稚園」で、保育実習を行いました。生徒は2～3名に分かれて、年長・年中・年少の各学級に入り、持参した手作りのおもちゃを使って、幼稚園児との交流を深めていました。

園児の皆さんは、教室にやってきた「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」に大喜び。最初は戸惑いながらも、小さな子供たちの笑顔につられて、満面の笑みで充実した時間を過ごすことができました。実習にご協力いただいたオイスカ日本語幼稚園様には、感謝申し上げます。

※ 広州日本人学校は、1982年開設の「広州補習授業校」が母体となり、1995年4月に広州市教育局の認可を受けて、「広州日本人学校（広州日本人外籍人員子女学校）」として開校しました。

【企業訪問（工場見学） 広汽トヨタ様】小学部5年生（11月29日）

社会科の学習で、南沙区の広汽トヨタ自動車の工場見学に行ってきました。

自動車づくりについては、予め教科書で学習していましたが、在庫（無駄）を出さない工夫、安全に作業を行うための仕組み、購入者の安全を考えた検査など、担当の方々から、机上では学ぶことのできない話を聞き、子供たちは驚きを隠せない様子でした。

特に、社会貢献活動のことや工場敷地内に広大なビオトープがあり、物づくりを進めると同時に、環境に大きく配慮していることは、新たな学びの視点となったようです。

子供たちに、深い学びの機会を提供いただきありがとうございました。



【世界同時授業】中学部2年生（12月5日）



「第6回 世界へ発信！私たちがつくる持続可能な社会 オンライン発表会」が実施され、中学部2年生がCTで取り組んできた「SDGs」の成果発表を行いました。

これは、参加する各学校が、SDGsの達成に向けて学んだことを実践報告として事前に動画にまとめ、オンラインプラットフォームに提出し、参加者は各動画を視聴した上で意見交換を行うものです。

本校は、3グループに分かれそれぞれ、日本国内の小学校や中学校、タイ、ドイツなどの日本人学校と意見交換を行いました。（ドイツは時差のため動画視聴やコメント書込みでの参加）

【オンライン交流② 北海道岩見沢小学校】小学部6年生（12月10日）

小学部6年生は、北海道岩見沢小学校とオンライン交流を実施しました。

学校の様子や気候、食事など、それぞれの学校から事前に出された質問内容について調査をし、プレゼンにまとめたものを発表しました。発表後は、さらに疑問を持ったことや深く聞いてみたいことを再質問する形で進んでいきました。

予想していない質問もあり、戸惑う様子も見られましたが、お互いに協力しながら答えていく姿に、6年生としての成長を感じることができた時間でした。



～ 学校長日記 ～

私も含めて多くの大人は、この時期に「1年が経つのは早いですね。」と挨拶を交わします。でも、子供たちにとっての1年は決して短くはなく、1日1日が成長するのに必要、十分な時間です。

子供たちは、日々悩みます。日々迷います。日々失敗します。日々考えます。日々行動します。そして、成長します。「子供を信じる」とは、子供たちがこれらのサイクルを通して、成長する存在であることを信じることだと思っています。

間もなく2学期も終わりを迎えます。1年を振り返る中で、楽しかったことも、うれしかったことも、辛かったことも、成長のための時間であることを、学校でも家庭でも確認していきましょう。